

3月議会の
ニュースのとびら



入学式の前にわくわくする新1年生（嬉野小）

総合計画の見直し
に着手

平成20年に作成した総合計画が社会情勢と相違しているの見直しを行うことになった

P4

予算の
なかみ

全国地紅茶サミットを
嬉野で開催

11月1・2日に全国の生産者や愛飲者が集まり12回大会を開催

P6

予算審議

議員と語ろう会の要望に
お答えします

要望を執行部に提出しその解答の一部を掲載

P12

活発な一般質問

今議会においても12名の一般質問がありました

P14

~21

議案の賛否

P11

教育委員を同意

P10

委員会

P22

レポート

~23

5円で15%の増



着々と工事が進む塩田中の建設現場

交付金で事業拡大

『社会資本整備総合』『地域の元気臨時』を活用

本年度当初予算は、合併後最大規模であった昨年度当初予算を更に大きく上回る151億5500万円（対前年度当初予算比15・0%、19億7300万円増）の超大型予算が計上された。

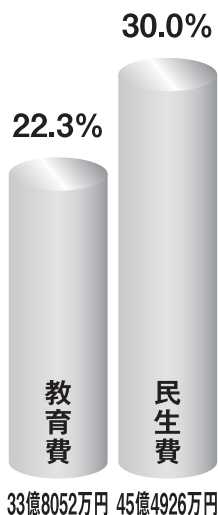
昨年末の政権交代による緊急経済対策に基づく平成24年度補正予算と平成25年度当初予算を15カ月予算とし、日本経済の再生に全力で取り組む姿勢は評価したい。

反面、地方公務員の給与を7月から引き下げること念頭に、地方交付税を3921億円減額することにより、本市の地方交付税が1億6千万円減額される。

このような状況の中にあつて、歳入予算ではたばこ税の増額などにより市税は若干の増額となるが、地方交付税や臨時財政対策債の減少が見込まれていて依然として厳しい財政状況にある。その中で大型予算の財源として、社会資本整備総合交付金などの国庫支出金やこれまでの繰上げた基金からの繰入金や、更には合併特例債等を活用しながら、財源の確保がなされている。

新規事業の福祉バス運営事業や中学生までの医療費助成、放課後児童健全育成、生活保護扶助費など民生費が30・0%。塩田中学校改築、校長先生の知恵袋、塩田津伝建地区保存事業などの教育費が22・3%。市債などの返済財源として公債費が6・6%を占めている。大型予算の財源確保のため、繰入金が増加して、自主財源比率が前年対比3・2%増の32・0%まで回復したが、基金の減少や市債の増加があり、今後の市政の推移を議会として厳しくチェックしていかなければならない。

歳出



借金返済1年間で 1人当たり3万5492円 一般会計

151億5500万円

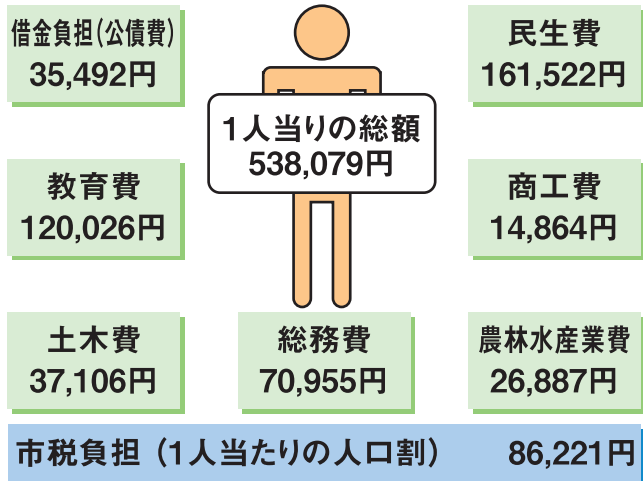
当初予算

会計名		予算額	前年度比
一般会計		151億5500万円	15.0%増
特別会計	国民健康保険	41億9894万円	0.3%減
	後期高齢者医療	3億2288万円	0.7%増
	農業集落排水	3億1446万円	48.4%減
	公共下水道事業	3億2602万円	3.4%減
	第7土地区画整理事業	2億801万円	19.1%減
	第8土地区画整理事業	1億4500万円	16.0%減
水道事業	収益的収入	6億300万円	1.5%減
	収益的支出	6億4355万円	1.1%増
	資本的収入	2452万円	2.0%増
	資本的支出	2億402万円	9.6%増

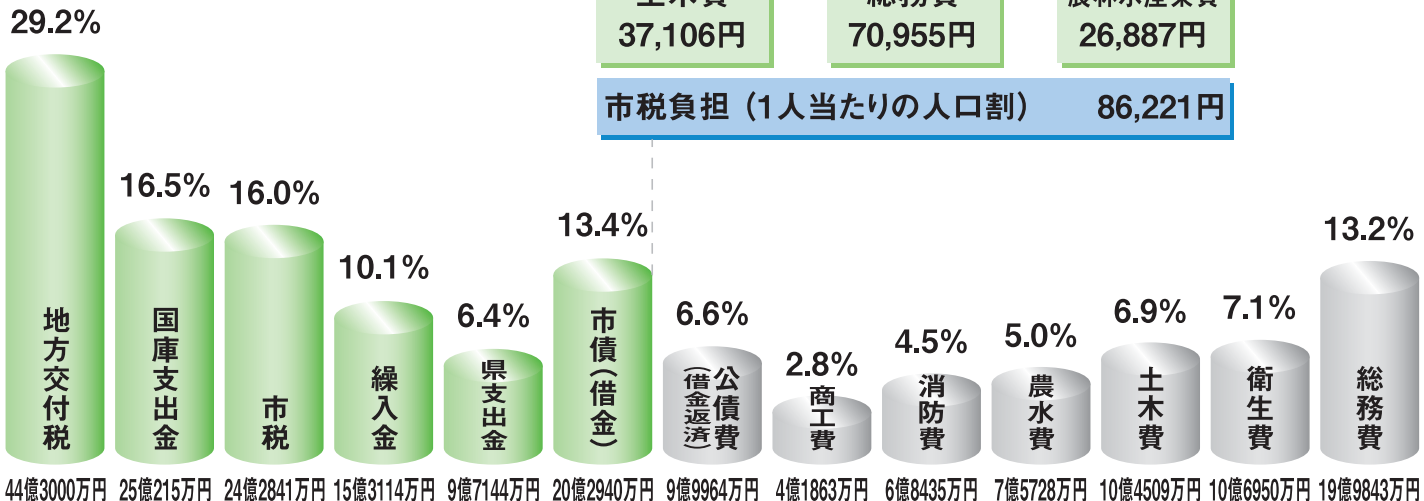
平成25年第1回定例会は3月1日に招集され、3月21日までの21日間の日程で開催された。今議会は、年4回開催される定例会で最も重要な議会であり、条例の制定23件、条例の一部改正13件、条例の廃止1件、市道路線の認定1件、一部事務組合の規約の変更について1件、平成24年度補正予算9件、平成25年度当初予算8件、嬉野市教育委員会委員の任命

平成25年度当初予算案について1件の、全部で57件の議案が初日に提案された。また、3月13日に条例の一部改正1件、地域の元気臨時交付金を主な財源とした平成24年度補正予算3件の4議案が追加された。3月18日発議第1号、3月21日発議第2号が提案され、賛成多数を含め全ての議案を可決した。(賛否表はP11を参照)

市民(28,165人)の一般会計状況



歳入



総合計画見直しに着手 後期基本計画（平成25年～平成29年）を作成

総務・企画



平成20年3月に作成した総合計画は計画期間を10年としているが、近年の社会情勢と相違していることから、基本計画についての見直しを行う。住民の意見を反映するために住民アンケート等

教育・文化



来春完成予定の塩田中学校建設費用の継続費として16億2千万円。個別の支援を必要とする児童生徒に対し、日常生活の介助や個々の状態に応じた学習活動のサポートを行う特別支援教

観光・商工



有田町と250万円ずつ出資し合い誘客の組織を作り、両市町の観光発

デジタル防災行政無線を設置

を実施し、関係機関と調整を図りながら、総合計画審議会を開催する。後期基本計画の策定予算600万円を計上。
老朽化した空家に対し解体撤去費用として150万円を計上、これは一定の条件のもと所有者に補助される。
デジタル防災行政無線整備事業約5億7400万円の内1億8538万円が計上され、今年度より設置が始まる。
みゆき公園において、たすきリレーをしながらチームで完走するマラソン大会に200万円を計上。

いじめ問題の取り組みを支援

育支援員の配置に1369万円を計上。
地域コミュニケーションと学校が協働活動を実践し地域とともにある学校づくりを推進するための研究事業に1000万円。
いじめ問題の取り組み支援と問題発生時の調査支援を行ういじめ問題等

有田町と観光誘客で連携

展をめざす。
商店街空き店舗等活用事業に県補助金と合わせ商工会へ200万円を補助。県の雇用創出事業で、観光リーダー育成事業・まつり活性化事業・観光情報発信事業・インバウンド対策事業に合わせ1932万円が盛り込ま



1月に開催された健康マラソン大会

れた。
昨年7月に「東アジア観光・産業戦略室」が設置されたのに伴い、その活動費に488万円の予算を計上。「九州フラ・フェスティバルin嬉野温泉」に、今年度は実行委員会を設置し400万円を補助する。その他に大会等誘致対策事業に300万円、地域力開発プロジェクト推進事業に900万円等で観光商工の振興をめざす。



福岡で開催された『うれしの茶』のPR

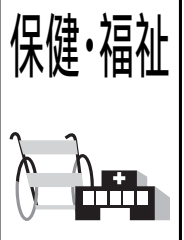
『うれしの茶』の振興を支援



うれしの茶産地振興支援事業として、うれしの茶のPRと消費拡大に取り組む事業への支援に400万円を補助。24年度に策定した「うれしの茶交流館建設」の基本構想をもとに基本設計業務の委託に482万円を計上。市施設排水機場（4カ所）維持管理費に681万円、基幹水利ストックマネジメント事業（三ヶ崎排水機場）に1234万円の負担金。

中山間地域直接支払事業が26年度までの第3期対策として実施中で、今年度は5817万円の補助金事業が予定されている。

森林環境保全直接支援事業に426万円。重要森林公有化等支援事業に100万円を計上して、「市環境林」として整備する。今後、環境保全における森林の役割が重要になってくる。



交通の便が悪い地域で高齢者や買い物弱者、障がい者の日常生活の足を確保するために無料の福祉バスを運行する。運行予算に357万円。

今年度から新たに身体に障害を有する18歳未満の児童に対し、将来にお



社会資本整備総合交付金事業で、九州新幹線西九州ルートの嬉野温泉駅周辺整備事業が本格的に動き出す。区画整理事業に7048万円、街路整備に550万円、道路整備に4300万円、都市再生整備に1500万円それぞれ計上された。

みゆき公園内のトンネル工事残土処分場を球技場グラウンドに整備する。その詳細設計委託に1千万円の予算。

無料の福祉バスを運行

いて生活能力を得るための医療費（原則手術による）を市が負担。84万円を計上。

放課後児童健全育成事業は今年度より、塩田地区、嬉野地区とともに社会福祉協議会への運営委託となり、対象児童も6年生まで拡大された。事業費用は3600万円。

ピロリ菌検査の費用助成対象者が30歳～49歳までに拡大され100万円が計上された。

また、不妊治療助成費用を初年度年3回、2年度目以降は2回まで拡大する予算210万円が盛り込まれた。

嬉野温泉駅周辺整備事業が本格化

23年度から始まった住宅リフォーム緊急助成事業は大好評だったが、今年度で終了する。1853万円で59件を予定している。

市道改良事業に8700万円、13路線が予定されている。また、市道維持補修事業に4817万円が当てられ、市道の維持管理を年間通して行っていく。



新幹線嬉野温泉駅の予定地看板

全国地紅茶サミットを開催

12回大会を11月1、2日の2日間



今年のハウスでの茶摘体験

全国地紅茶サミット 第12回つれしの大会に

100万円

問 この大会は、これまでも開催されていたのか

答 11回大会が、昨年岡山県高梁市で開催され、全国の紅茶生産者や愛飲者が集まった。

問 いつ開催するのか。

答 11月1日・2日の2日間を予定している。

問 イベントの内容は。

答 全国地紅茶試飲会やスイーツグランプリ、地元特産物を生かしたカフェ、ウォークラリーなどである。

嬉野温泉映像情報 発信事業に

300万円

問 事業の内容は。

答 嬉野温泉観光協会と

タイアップして、「嬉野川恋歌」のカラオケのバック映像に嬉野市内の旧所・名跡を入れ込んで、市内各所を映像により紹介する。

問 事業の効果は。

答 映像を見ることにより「嬉野温泉」の情緒あふれる風景等を周知してもらい、訪問意欲を湧きため、観光振興を図る。

嬉野市・有田町 連携誘客事業に

250万円

問 この事業の話はどこから呼びかけたのか。

答 以前から親しかった首長同士で話がまとまった。

問 どうして有田町なのか。

答 陶都有田での陶磁器

文化体験や購入で有田ファンを増やし、その流れで宿泊者を嬉野温泉に誘導する「商品」と「企画」を専門の業者に委託する。

農業基盤整備 促進事業に

160万円

問 事業の場所は。

答 嬉野市から白石町へ

つながる真崎・牛間地区間の水路の改修である。

問 事業の内容は。

答 事業の実施主体は白石町にあるので、嬉野市は地元負担金を受け入れて、嬉野市負担金とともに白石町へ支払う。

問 負担金は。

答 負担割合は白石町と案分で、市80万円、地元80万円である。

青年就農給付金 事業に

929万円

問 事業の目的は。

答 若い後継者や新規の就農者を増やすため、就農前の研修期間や就農直後の所得の安定をはかるため給付金を交付する。

問 事業の内容は。

答 農業経営者育成機関や先進農家等で研修（2年以内）や嬉野市地域農業マスタープランに合う45歳未満の独立自営農業者に審査を経た後に年間150万円を給付する。

その他の主な予算

項目	金額
土地鑑定評価業務	1524万円
定住促進奨励金	2380万円
合併振興基金造成事業	7億1000万円
結婚支援推進事業	268万円
保育所運営費	7億3993万円
放課後児童健全育成事業	3809万円
がん検診事業	1968万円
生活保護扶助費	5億3499万円
さかの強い園芸農業確立対策事業	3030万円
灯創出事業	264万円
九州フラ・フェスティバルin 嬉野温泉	400万円
塵芥処理事業	3億3472万円
し尿処理事業	3億924万円
校長先生の知恵袋事業	200万円
伝建地区保存修理事業	1903万円

嬉野温泉駅周辺
整備事業に

1億3398万円

問 事業の内容は。

答 今年度は、仮換地指定準備や家屋補償調査、移転補償調査、道路実施設計・詳細設計、調整池詳細設計などを予定している。

問 新しく道路を整備するのか。

答 土地区画整理事業内の駅周辺地区から、市道一丁田線までのアクセス道路を整備し、基盤を整

えていく。

防災行政無線整備
事業に

1億8538万円

問 総事業費はいくらかかるのか。

答 平成24年度から26年度までの継続事業であり、5億7400万円となっている。

問 事業目的と整備内容は。

答 防災情報をはじめ防犯・交通安全・生活情報等を提供する。また、聴覚障がい者のための文字表示機能付き受信機も導入する。

リレマラソン
開催

200万円

問 開催日・会場については。

答 9月29日(日)にみゆき公園内を予定している。

問 チーム編成とコースはどうなるのか。

答 1チーム4人以上10人以内で編成し、1周2キのコースを約21週たす

きリレーし、チームで完走するマラソン大会を開催する。

福祉バスの運行に

357万円

問 福祉バスとはどのようなものか。

答 公共交通機関が運行していない地区の高齢者・障がい者・買い物弱者等の日常生活の不便を解消するために無料のバスを運行する。

問 どこを走るのか。

答 吉田地区の西吉田、東吉田、広川原、西川内、春日の5路線を吉田コミュニティ運営協議会に委託し運行する。

8020運動推進
事業に

11万円

問 80歳まで自分の歯を20本以上維持する運動と理解するが、具体的にはどのような運動をするのか。

答 「嬉野市、家族みんなでお口の健康づくり宣

言」を制定し、市民が歯と口腔の健康保持に努めていただくように啓発していく。歯の健康管理を唱えるキャッチフレーズを記した色紙を全世帯に配布する。

ラ・フォル・ジュルネ
音楽祭プレ公演に

40万円

問 公演日と会場は。

答 4月30日に嬉野・塩田・吉田の各小学校において開催する。

問 その他の小学校はどうなるのか。

答 バスを借り上げ送迎をする。

問 どのような演奏会なのか。

答 四重奏による演奏で、本物のクラシック音楽の素晴らしさと感動を味わってもらおう。



ラ・フォル・ジュルネの訪問演奏

追加補正を加えて 10億504万円を補正

一般会計総額で154億5221万円に

子ども達の学習環境を整備

五町田小・大野原中を改修

大野原中学校・
五町田小学校改修工事

2億3千万円

問 大野原中学校はどこを改修するのか。

答 シロアリ被害がひどいために工事が必要だ。技術室の改修と新たに特別支援教室をつくる。

問 五町田小学校は痛みも相当にひどいが。

答 1億9千万円の予算で内部は床や壁などの塗装、黒板、掲示板の取り替え、外部は劣化部の補修やサッシガラスの取り替え等、大規模な改修をする。

屋外照明施設設置
事業に

3833万円

問 どこをするのか。
答 北部公園野球場照明

設備・五町田小学校グラウンド夜間照明・轟の滝公園球場屋外照明施設の3カ所を予定している。

問 その目的は。

答 夜間利用の利便性を高めることにより、スポーツ振興の向上を図る。

問 その効果は。

答 利用者の増加と市民の健康増進に寄与すると考える。

塩田庁舎改修
事業に

660万円

問 どこを改修するのか。

答 塩田庁舎の照明機器を全てLED照明に更新する。

問 どうしてなのか。

答 節電が求められ、更なる光熱費の節約をめざしたい。

問 どれくらい節電できるのか。

答 年間約245万円の光熱費から100万円程度の節約を見込んでいる。

消防防災車両
整備に

1802万円

問 どこに配備するのか。
答 塩田地区の市消防団

第1分団第1部の消防ポンプ車両を更新する。

問 どうして第1分団第1部なのか。

答 ポンプ車の運用が2年を超えている。所轄するエリアには塩田津伝建地区があり、常備消防部署もないので有事に備え設備の充実を図りたい。



入れ替えられる消防ポンプ車



昨年改修された広川原キャンプ場のバンガロー

広川原キャンプ場
改修工事に

1470万円

問 事業の内容は。

答 昭和50年に建築されたバンガロー群のうち、未改修のままであった5人用を2棟、10人用を1棟改修する。

問 UD化を取り入れるのか。

答 今回も車椅子対応のユニバーサルデザインを取り入れたバンガローを考えている。今後は、こ

公園整備改修
事業に

4466万円

問 事業の内容は。

答 和泉式部公園と大野原屋外運動場の不良遊具を撤去し新しい遊具を設置する。大野原屋外運動場は東屋建物の修復もする。また、花みずき公園と下宿公園にトイレを新設する。

問 その効果は。

の施設のPRと利用促進を図っていきたい。

答 以前から要望が出ていたところであり、今後利用者の増加と利便性が図られる。

みゆき公園施設
整備に

3億5633万円

問 どこをするのか。

答 駐車場整備やトイレ新築と、多目的運動広場・グラウンドゴルフ場・みゆきドーム園路等・みゆき球技場・みゆき相撲場全体の改修を予定している。

その他の主な補正予算

項目	金額
生活交通路線維持費	286万円
森林整備促進対策事業	1492万円
消防防災車両整備	404万円
社会文化会館建設事業	1億6000万円
不動プール周辺整備事業	350万円
市体育館設備改修	180万円
農業水利ストックマネジメント事業	780万円
下吉田水路改修	513万円
地場産品ものづくり事業	100万円
小中学校教育環境整備	2700万円

橋梁補修整備に

9700万円

問 事業の内容は。

答 健全度の低下を確認した橋梁4橋の補修工事を行う。

問 その場所は。

答 碓石橋(市道小杭線)、寺辺田大橋(市道両岩寺辺田線)、中里橋(市道山口殿ノ木庭線)、川原橋(市道下野鳥越線)の4カ所である。

問 その目的は。

答 公園施設利用者の利便性や安全性を高めることにより、来客数の増加や市民の福祉の向上に寄与する。

次世代自動車導入
事業に

740万円

問 今後の取り組みは。

答 橋梁長寿命化計画に基づいて行っていく。

問 何を導入するのか。

答 プラグインハイブリッド車を2台と充電設備2カ所を設置する。

問 プラグインハイブリッド車とは。

答 電気自動車とハイブリッド車の両方の機能を備えた次世代自動車である。

問 充電設備はどこに設置するのか。

答 嬉野庁舎と塩田庁舎それぞれに設置する。

地域の元氣臨時
交付金事業とは

国の政策で公共事業に力を入れ、地域の経済活性化と雇用を図るため、特例措置として地方負担を軽減するために平成24年度補正予算で「地域の元氣臨時交付金」が創設された。

国の予算総額は1兆3980億円となり、嬉野市は2億5300万円の交付金が充当された。

該当の事業として
消防ポンプ自動車等の購入

公園等改修(北部公園・和泉式部公園・総合運動公園)

体育施設改修(五町田小学校グラウンド照明・轟球場屋外照明・不動プール・市体育館・大野原屋外運動場遊具)

嬉野温泉駅周辺関連整備

広川原キャンプ場改修
塩田庁舎改修

次世代自動車導入
五町田小学校水洗化
大野原中学校改修
塩田図書館改修

新型インフルエンザ

に対応

新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策本部における情報交換及び連絡調整を円滑に行うため、必要に応じて新型インフルエンザなど対策本部の会議を招集することができる。国の職員や他市職員以外の者を会議に出席させたときは意見を求めることができる。

嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業施行条例

この条例は土地区画整理法により、嬉野市が施行する嬉野温泉駅周辺地区の土地区画整理事業の施行に関し、規定する事項その他必要な事項を定める。この条例に定めるもののほか、事業の施行に関し必要な事項は、規

則で定める。

嬉野市手数料条例の一部を改正する条例

認可地縁団体及び航空写真図にかかる手数料を追加するため、条例の一部を改正する。

- 1 認可地縁団体の証明及び印鑑登録証明
- 2 航空写真図または地番図付航空写真図の閲覧
- 3 航空写真図の交付
- 4 地番図付航空写真図の交付

嬉野市農業集落排水処理施設事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

この条例の施行日以後アパート等の集合住宅に係る排水設備の新設等の確認申請をした者にかかる分担金の額について適用する。ただし、アパート等の集合住宅については別に定める。

今議会で制定・改正・廃止をした主な条例

制定

- ・嬉野市市道の構造の技術基準及び市道に設ける案内標識等の寸法
- ・嬉野市災害時要援護者避難支援連絡会議
- ・嬉野市地域公共交通会議
- ・嬉野市男女共同参画推進協議会
- ・嬉野市教育委員会評価委員会
- ・嬉野市就学支援委員会
- ・嬉野市学校給食センター運営委員会
- ・嬉野市地域福祉計画策定委員会
- ・嬉野市次世代育成支援地域行動計画協議会
- ・嬉野市要保護児童対策協議会
- ・嬉野市老人ホーム入所判定委員会
- ・嬉野市高齢者保険福祉計画策定委員会
- ・嬉野市高齢福祉推進委員
- ・嬉野市障がい者計画策定委員会

改正

- ・嬉野市うれしの茶交流館建設推進委員会
- ・嬉野市農業振興地域整備計画推進協議会
- ・嬉野市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定委員会
- ・嬉野市暴力団排除条例の一部
- ・嬉野市税条例の一部
- ・嬉野市公園条例の一部
- ・嬉野市下水道条例の一部
- ・嬉野市営住宅条例の一部
- ・嬉野市水道事業の設置などに関する条例の一部
- ・嬉野市公民館条例の一部
- ・嬉野市予防接種健康被害調査委員会条例の一部

廃止

- ・嬉野市青少年問題協議会条例

教育委員に

瀬戸口直子氏を再任

年3月31日である。

嬉野市教育委員会委員の瀬戸口直子氏を任期満了に伴い再び任命するため議会の意見を求められ、全会一致で同意した。

瀬戸口直子氏は塩田町谷所在住で、任期は平成25年4月1日より平成29



TPP 交渉参加の表明撤回を 求める意見書を採択

TPP 参加による市民生活への影響は、紛争解決、医療、金融、食の安全など様々な分野に及んでおり、その影響については国民に対し十分な説明が成されているとは言い難い。

開示された試算内容を見れば、関税を完全に撤廃した場合、農林水産物の国内総生産の4割に当たる3兆円が失われる。食料自給率の目標も50%としているにもかかわらず、現在の39%から27%程度に低下する。

本市議会は、これまで TPP 交渉参加に慎重な対応を求めてきた。政府に対しては TPP 協定交渉の参加表明を撤回するよう強く要請する。

内閣総理大臣の他、関係省庁に送付しました。



国の制度改正として水道事業の会計方式の改訂に伴い、「新会計対応業務」を外部委託料の939万1千円について議案質疑で質問し、説明を受けたが、納得ができない。
反対理由として

平成25年度水道事業会計予算に

反対

山下 芳郎 議員

- ① 会計システムの変更だけで、939万円という高額で外部へ委託されることは安易である。
 - ② 職員が主体になって、この改正の制度を調査し、移行期間に係る専門性が必要であれば、その部分の委託も可能と思うが、検討されていない。
 - ③ 庁舎内での異動も検討されていない。委託先に丸投げ的な予算に納得できない。
- 委託料全般のあり方についても職員不足を理由に乱用と思われる部分に感じられ、一石になればと思いついて反対討論する。



300万円ほどの利用料が計上された。それならば、「シーボルトの湯」

嬉野温泉公衆浴場施設特別

会計補正予算に

反対

神近 勝彦 議員

に支出している一般会計繰入金を削減すべきである。

反対する。

今回の補正予算は予算計上の手法に問題があり、



少子高齢化に入り、人口減少で国の財政力低下の流れで今までの保護貿易では国際経済力について行けない。

TPP交渉参加の表明撤回を

求める意見書に

反対

山下 芳郎 議員

めにTPPの議論に入り、日本の立場を説明することが先決である。

今の上りでは、TPPに参加しなくても高齢化とともに専業農家が少なく、先細りである。

幸い佐賀県産のコメもお茶も国際的に十分評価され、世界に輸出できる。国内では、コメもお茶

参加することで、生産者が自分で値段を決められる仕組みと海外への流通を始めとした農業改革が必要であり、TPPへの参加に賛成するものがある。

そのためには、日本の優れた技術を生かし、世界に向けて、発信することが大事であり、そのた

議案の賛否 どう判断

賛 否 表 賛成 反対

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	園田浩之	副島孝裕	田中政司	織田菊男	神近勝彦	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山口要
議案第23号	嬉野市学校給食センター運営委員会条例について																	
議案第40号	平成24年度嬉野市一般会計補正予算(第8号)																	
議案第47号	平成24年度嬉野市嬉野温泉公衆浴場施設特別会計補正予算(第2号)																	
議案第49号	平成25年度嬉野市一般会計予算																	
議案第56号	平成25年度嬉野市水道事業会計予算																	
議案第57号	嬉野市教育委員会委員の任命について																	
議案第59号	平成24年度嬉野市一般会計補正予算(第9号)																	
発議第1号	嬉野市議会規則の一部を改正する規則について																	
発議第2号	TPP交渉参加の表明撤回を求める意見書について																	

私たちの願い!どうなった

議員と語るう会の要望にお答えします

今回で9回目となる嬉野市議会の「議員とかたろつ会」を昨年11月12日から15日までの4日間にわたり8会場で行いました。多数の方に参加を頂きありがとうございます。

要望を頂いた事案につきましては議会で協議を行います。

執行部に対し質問書を提出した中から、回答の一部を紹介します。

自治公民館の補助金の拡大を

答 自治公民館のバリアフリー化や熱中症予防としての空調設備の整備について平成25年度から補助対策として行つた。

市税の徴収向上に一層の努力を

答 長引く景気低迷の中、平成23年7月に収納課が新設され、催告書の発送や差押強化、経済的に厳しい世帯は弁護士へ

の紹介など取り組んでいる。

平成23年度決算の徴収率は主要税目（住民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税）について若干上昇したが、県内他市町と比べれば、徴収率が低いので、今後も新たな手法で佐賀県滞納整理機構と連携し、不動産公売等検討しながら、徴収向上に務める。

市職員の市民に対する接遇マナーの改善を

答 市役所では各課に窓口もあり、市民サービスの向上のため職員に研修等への参加を積極的に推進している。女性職員を対象にした住民満足度向上のための接遇養成研修や、管理職による若手職員への研修など市民への対応の仕方、積極的な地域とのかわり、職員としてのマナー向上をさせるための研修を実施している。

今後とも接遇マナー研修会等へは積極的に参加し市民の付託に答えたい。

旧嬉野小学校の跡地利用計画は

答 小学校跡地の周辺には、市体育館や庁舎、文化センター、公民館等の多くの公共施設がある。

これらの中には、設置後、長い年月を経過している施設も多く、施設改修費や維持管理費に多額の費用を要し、その時期も集中する可能性があり、今後の財政運営の中で大きなウエイトを占めてくるものと推測される。

今後、跡地利用については将来の人口動向や財政状況、利用状況など公共施設の再配置計画を立て有効に市民の皆様にご利用していただけるよう検討する。

伝建地区に大型バスの進入禁止やカラー舗装の修復を

答 大型バスの乗り入れは回数が少なく、進入禁止の制限は今のところ考えていない。

中型バスは、港広場を利用している。

カラー舗装の修復は部分的には行っている。平成28年度からの街なみ環境整備事業により、道路の改修工事を計画している。その間は部分的な補修工事に対応していきたい。

地域コミュニティ交付金の繰越しと事業計画に伴う基金積み立ての実現を

答 交付金の取り扱い

は、交付申請書や実績報告書に基づく単年度精算を原則としているので、剰余金が発生した場合は市へ戻すことになる。

例外的に基金として積み立てる場合は、事前に市と協議し、目的・積立期間を定め、市の承認を得ることを条件とする。

交付金の取り扱いは、定期的に開催している事務局長研修会で周知を図っている。



昨年開催された議員と語るう会

12議員が質問

平野 昭義 議員
(14P)

山口 政人 議員
(14P)

山下 芳郎 議員
(15P)

副島 孝裕 議員
(16P)

梶原 睦也 議員
(16P)

神近 勝彦 議員
(17P)

辻 浩一 議員
(18P)

山口 忠孝 議員
(18P)

西村 信夫 議員
(19P)

大島 恒典 議員
(20P)

織田 菊男 議員
(20P)

山口 要 議員
(21P)

お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放送
・有線テレビ放映
(放映については議会事務局にお尋ねください)

← 次ページは
一般質問

市政を 問う

3月議会

市議会の 30日間

平成25年3月

日付	曜	議会関連	内 容
1日	金	本会議	開会、会期の決定、 諸般の報告、議案一 括上程、提案理由の 説明、委員長報告
		委員会	議案の説明
2日	土	休会	
3日	日	〃	
4日	月	委員会	各常任委員会
5日	火	委員会	各常任委員会
6日	水	休会	
7日	木	〃	
8日	金	本会議	一般質問
9日	土	休会	
10日	日	〃	
11日	月	本会議	一般質問
12日	火	本会議	一般質問
13日	水	本会議	議案質疑
14日	木	本会議	議案質疑
15日	金	本会議	議案質疑
16日	土	休会	
17日	日	〃	
18日	月	本会議	議案質疑
19日	火	休会	
20日	水	〃	
21日	木	本会議	討論・採決・閉会

議長交際費支出状況

(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(単位: 円)

項 目	件数	支出金
香 典	0	0
供 花	0	0
御 祝	0	0
会 費	1	4,000
そ の 他	3	6,300
計	4	10,300

家庭の日」を家庭・地域に 定着させよ

平野昭義 議員

答 再度家庭の絆について評価する必要がある



平野 佐賀県は平成14年ゆとり教育の中で、第3日曜日を家庭の日と定め、家族の繋がりを地域との絆を深めることを提唱した。10年を経過した今日、部活動が過熱し、勝利の



大事にしたい家族の絆

みを目指してきた指導者や監督などが、いじめ・体罰などを起し重大な社会問題となっている。どう受け止めているか。

市長 再度、家庭の絆について評価する必要がある。地域においては、地域コミュニティを中心としてさまざまな絆が深まっていくよう期待する。

教育長 家庭の日は、社会教育や学校教育の分野の部活動を中止し、家庭に帰することが望ましいと考えている。
市教育委員会では、27

年度から、小・中学校がコミュニティの傘のもとで、学校教育活動の一部を展開する計画がある。

平野 県内では8市町で家庭の日の催しが行われているが。

教育長 塩田地区の4校では、体育大会や、くんち等は優先的に行事に参加するよう校長先生を通じて指導している。

平野 土曜日開校の気運が高まっているが。

教育長 エアコンが設置されたので、来年から夏休みを5日程度早めて授

老

朽公共施設の対策はどうする

山口政人 議員

答 毎年の予算の中で行っていききたい



山口 平成23・24年度で市内の橋と公園の長寿命化修繕計画策定事業があったが、どのような状況か。

建設・新幹線課長 4橋については、緊急を要するという報告を受けているが、全体的には3月末で業務が終了するので、それを待ちたい。

山口 橋や公園以外の水道の配水管、また市営住宅・研修センター・排水機場等については、修繕計画策定はどうするのか。

市長 他の施設については、施設内部の整備もあるもので、毎年の予算の範囲で行っていききたい。
山口 平成28年度からは

普通交付税が減額になり、また、平成33年度で合併特例債の期限も切れる。

さらに、交付税が削減される期間は新幹線建設のピークと重なり、老朽施設の対策どころではない。

そのためには、公共施設の修繕計画基本方針を早く立てるべきだ。

市長 交付税の減額や新幹線の件も承知している。中長期財政計画で検討しながら将来に負担のかからない財政運営を心がけている。

山口 最近、職員の「こころの病気」が増えているし、予備軍もかなりいるように思う。原因をどのように認識しているのか。

市長 最近の報道でもあるように、全職種において、そのような傾向があるので、十分注意を払い

ながら個々に業務が集中しないように対処している。

山口 行財政改革を急ぐあまり、職員数の削減での仕事量の増加や、今日の社会情勢で公務員に対する風当たりが強くなっていることも重なって、職員のストレスも増えている。

職員数 にしても類似団体と比べたら嬉野市は非常に少ない。市長として一度立ち止まって、足元を見つめ直したらどうか。

市長 指摘については十分配慮をしながら努力しているし、職員の努力についても承知している。また、公的な仕事を民間移譲にということも検討している。



早く進めたい源泉集中管理（源湯）



源 泉集中管理どう進める

答 全員の賛同に努力する

山下芳郎議員

業を行うと決めている。結婚支援課の成果は

【平野】 成果と課題はどうか。

【市長】 市民の皆様や推進委員の努力により順調に成果も上がっている。登録者以外の方ともお付き合いも広げて頂くようなことで、市民のご理解を

頂ければと思っている。支援員の皆さんも、大変ご協力いただいております。今後も継続していく。

【地域づくり・結婚支援課長】 現在、登録者90名、既に成婚もあり、今月も結婚される方がおられる。さらに強力に進めるためにいろんな事業を推進していく。

社会文化会館竣工記念はどうする

【平野】 NHKのど自慢を誘致し、嬉野温泉を全国にPRし、温泉客増を計画すべきだ。

【市長】 完工予定が見通すようになれば検討する。

【山下】 今期中での、この件の質問は4回目になるが、その後の進捗はあるのか。また、全員の賛同が必要とのことだが、賛同者だけでも開始すべきではないか。

【市長】 全員賛同に向けて努力をしている。

【山下】 揚湯料と使用料との差を調査して、漏湯の実態はどつだったか。

【観光商工課長】 3月で終了した後に、報告できる。【山下】 合併特例債は5年

延長になり利用も可能となったがどうするのか。

【市長】 当初の平成27年度の期限内で努力するが、厳しければ、県と相談し継続していくこともある。観光資源を生かせ

【山下】 大野原高原の星空体験など自然を生かす。春日分校跡また美野分教場の口ケなどに生かす。源泉のタンクを見せ嬉野温泉の良さの体験。溪流釣り、釣り堀、魚の養殖。

吉田焼きでのオカリナ制作。新幹線嬉野温泉駅に温泉体験施設の設置。塩田津に陶石を運ぶ船を見せる。そのような市内に点在する観光資源の素材を生かして観光協会と連携し、多様化したお客様へのニーズに対応できる商品作りの考えはないか。

【市長】 それぞれの提案は、体験や体感型の旅行商品に育つものもあると思うので検討し、観光協会にも紹介したい。

【山下】 春日溪谷の滝がみえる一番の見所の部分だけでなく、川沿いに散策道ができないか。

【市長】 貴重な溪谷であるので現状を変更せず、できる限りでの整備で対応

したい。

今後の学童保育どうする

【山下】 放課後児童クラブいわゆる学童保育の委託先が社会福祉協議会に変わる。預かり日数や時間も大幅に拡大されるが、子どもの安全確保について指導員は有資格者でなくとも対応できるのか。

【福祉課長】 委託先の社協が経験者を念頭に入れて採用されると思う。

【山下】 国は放課後児童クラブについて大幅に改訂予定と聞くが、実態調査の状況は。【福祉課長】 平成25年度中に策定される予定である。



老朽化した排水機場

職員定数を満たしていない 事務部局があるが

副島孝裕 議員

答 外部への業務委託等も考慮し調整したい



副島 職員の病気による長期休暇者が多く、定数不足による過重負担になつていないか。
市長 できる限り業務を分担し対応している。自己管理を徹底するよう指

示もしているが、ストレスからくる部分もあり、弁護士等に研修をお願いし、組織として対応したい。

副島 民間経験者の中途採用制度を導入し、新しい視線での業務の推進を目指している。

市長 合併の際、10年間で49名削減するという市民への約束であり、外部委託等をこれまで以上に推進していきたい。

副島 「市長と語るう、ふれあい対話集会」の今後の計画は。
市長 今回、38行政区で実施しており、その他でも地区開催の間で民生委員会や商工会等、組織・団体との対話集会を実施したい。

副島 エレベーター設置は。
市長 嬉野庁舎のエレベーター設置は可能か。

市長 提案があった時、第2棟に外付けで検討し



塩田中の卒業式風景

高校入学準備資金貸付制度を創設せよ

梶原睦也 議員

答 調査をしてみる



梶原 今春、中学校を卒業する生徒の進路状況は。
教育長 99%の生徒が高校へ進学予定だ。
梶原 入学準備金としてどの程度必要か。
教育長 公立で10万円、

私立だとそれ以上かかる。

梶原 中学校で高校入学時の準備金（入学金・教科書代・制服代・交通費等）について、大体どれくらいかかるか説明はされているのか。

教育長 高校の体験入学の時にパンフレットなどで説明されていると思う。

梶原 高校進学に際し就学支援は公立高校の無償化や市立高校の就学支援制度、奨学金貸付制度がある。また、入学準備金については国や民間の教育ローンがあるが、これらを利用できない方がいるのも事実である。

他自治体においては独自の高校入学準備資金貸付制度を設けているところもある。是非、本市においても創設すべきだ。

市長 嬉野町の時に高校や大学の入学一時金貸与制度があった。この点も踏まえ、もう一度調査をする。

梶原 障害者福祉について

梶原 障害者団体への加入促進については、どのように対応しているか。

福祉課長 加入が進んでいないので手帳の交付時に加入についてのお知らせをしている。

今後については団体と協力体制をとり加入促進についても研究をする。

梶原 障害者団体に対する補助金減価は。

健康福祉部長 補助金減価は4～5年やっていないし、しばらく減価はない。

梶原 乗り合いタクシーに障害者割引運賃を導入すべきではないか。

企画企業誘致課長 利用者の意見も聞き、検討する。

梶原 市役所の障害者雇用率は。

総務課長 法定雇用率が2・1%で本市の雇用率は2・75%となっており塩田・嬉野それぞれに4名の雇用がある。

梶原 今年度から施行される障害者優先調達法への取り組みは。

福祉課長 このことについては確認をしてみる。



職員の人事管理を担当する総務課

だが、費用が1億6500万円かかるということ
で実現できなかった。今
後も、耐震化の工事と全
体的建て替え等の課題を
研究したい。

庁舎の統合は

副島 合併後、数回にわ
たり機構改革が推進され
てきたが、まだまだ改革
が必要と思われる。その
解決策は庁舎の統合であ
ると提案してきた。合併
特例債の期限もあり、決
断の時期であると思うが、
市長 現在の2庁舎体制

について、できる限り経
常経費を節約し利用して
いる。行政サービスにつ
いても庁舎間の連携をと
り、市民の皆様へ負担感
のないよう努力している。
塩田 庁舎が建設後約20
年、嬉野庁舎が約50年を
経過しており、合併協議
会の内容に沿って、効率
化を果たした後に、庁舎
のあり方について市民の
利便性を考慮しながら検
討する必要がある。今後
ご意見を頂きながら、庁
舎のあり方をお示しでき
ればと考えている。

地元産野菜をもっと活用すべき

神近勝彦 議員

答 献立のあり方から考えてみたい



神近 給食センターの食
材は、地産地消を進めら
れていると思うが、どの
ような状況なのか。

教育長 米は嬉野産をJ
A、味噌は塩田の唐泉の
恵、青果物は給食納入組

合・吉田まんぞく館・み
ゆきの里・塩田町の特産
物直売所から購入してい
る。残念ながら全ての食
材を賄えるまでには至っ
ていない。

神近 食材全体で嬉野産
はどの程度なのか。

教育長 46%程度である。

神近 市長はどの程度ま
で地元産で賄いたいのか。

市長 佐賀県産は地元産
と考えるので、80%程度
は確保したいと思う。

神近 本市の農業を維持
していくためにも、ハウ
ス栽培の推進を進め、農
業の自立や学校給食の地
産地消を図る必要がある
のではないかと。

市長 生産の農産物の組
み合わせをうまくお願い
できればいいのではない
かと思うが、基本的に全
部の課が協議をし、年間
何トン農家をお願いする
とか、そのようなことを
しっかりとやらないと農家
に迷惑をかける。ぜひ勉
強させていただきたい。

ごはんにはお茶を

神近 給食ではご飯を牛
乳で食べている。牛乳を



楽しく食事する学校給食

乳製品に替え、お茶を提
供できないのか。

教育長 学校給食法は牛
乳となっているので無理
と思う。

神近 ごはんを牛乳で食
べることに、教育長も最
初違和感があったと言わ
れた。学校給食法は昭和
20年代のパンと牛乳を基
本としている。法律を変
えるべきだ。

市長 基本的には牛乳は
法で決まっている。

神近 法律上、結婚をさ
寡婦の所得控除は

れていない母子家庭は寡
婦の対象になっていない
そのため、離婚や死別さ
れた母子家庭のように、
所得税の控除が適用され
ない。これによって、住
民税・国保税・保育料な
どに影響があるが、どう
思うのか。

市長 現在は国に準じて
取り扱っているが、自治
体の中には、みなし控除
をおこなっているところ
もあり、研究してみたい。

いじめの現況と対応は

辻 浩一 議員

答 関係者の努力で大きな課題は発生していない



辻 いじめは完全になくせるか。

市長 いじめが起らないことを、行政として努力すべきと思う。

教育長 いじめを出さない嬉野市に努めたい。



いじめ予防のP・Rポスター

辻 いじめを認めながらない事が、隠蔽体質に繋がるのではないか。

教育長 隠す必要はないと思うので9月に発表しました。認定した時には公表する。

辻 スクールソーシャルワーカーの仕事が重要だ。市費で人材を育てていくことが必要ではないか。

市長 これまで福祉の観点で対応してきたが、今後は人材が時代に合った対応ができるか勉強していかなくてはならない。

体罰について

辻 体罰と指導の線引きはどう考える。

教育長 年齢や環境また場所等の状況で判定するようになっていく。そういった意味で難しい。

辻 教師が様々な規制で指導がしにくくなるのはと危惧している。校長のマネジメントが重要になってくるのではないか。

教育長 部活においては保護者会と部活の方針を話し合いながら運営を行い、ただ運動をすればいいと言うことでは意味が

学

校生活の中にティータイムを

山口忠孝 議員

答 取り組みができれば賛成だ



山口 学校教育だけでなく、学校生活の中にお茶に親しむ時間を設けてはどうか。

市長 課題もあるが、ティータイムを持つことには賛成だ。産地らしい取り組みができたらと期待する。

教育長 学校の中でお茶に親しむことは大切だと考える。市内全ての学校に給茶機が設置され、各学校でそれぞれにお茶に親しむ学習がなされている。

山口 給食時のお茶は、学校給食法や安全管理の面で難しいとのことなので、別に機会を設けたらどうか。

教育長 学校生活のいつの時間にどのように取り入れるか、急須や湯呑みの管理はどうするのか等の課題が出てくる。

山口 学校だけでなく、地域コミュニティや茶業関係者の協力も必要だと思う。学校は本来なら勉強をする所だが、今の時代は、子どもたちと先生方が向き合う時間も必要ではないか。

教育長 教育は人づくりであるので、今後、検討・研究してみたい。

いじめ問題について

山口 いじめ問題等発生防止支援委員会を作るよ、まずは現場の先生と子どもたちの関係が一番大事なのではないか。

教育長 いじめ問題に関する提言や保護者用のパンフレットができてくつあり、委員会ができて非常に有効であった。

山口 人間の社会にいいのない世界はないと思う。それに耐え、強く生きる力をつけるのが教育ではないのか。

教育長 低い形での経験で自信を持たせ、自分の力で解決させる社会性を身につけさせるのが今後の課題だ。

山口 新体制の進捗状況は。

市長 社会福祉協議会に引き受けてもらい、円滑にいくと考えている。

山口 嬉野地区でこれまでやってこられた方は福祉課長 辞退されたので、嬉野地区も社会福祉協議会にお願いした。



職員給与を担当する総務課



給与削減はとじする

答 削減をせざるを得ない

西村信夫議員

西村 昨年4月から国家公務員給与は7・8%削減された。地方公務員も給与、期末勤勉手当及び管理職手当の削減要請があつているが、本市の対応はどうするのか。

市長 嬉野市も国の要請として給与削減を導入せざるを得ないと考える。

西村 国家公務員給与指数を100とした場合、嬉野市のラスパイレシ指数は101。県内20市町で19位である。国の要請に従つて給与削減した場合の職員の平均削減額は、総務課長 現在の国の基準に当てた場合は月平均2万5千円の給与削減になる。また、期末勤勉手当が国の示す9・77%削減した場合、全体で1465万円、職員平均で6万8千円の削減になる。

PM2.5対策は

西村 中国で深刻化している大気汚染が日本にも飛来し、健康への影響が

西村 教育委員会として子供たちの屋外教育などの対策はどうか。

学校教育課長 注意喚起は県から市や町、学校にメールやファックス等で情報伝達がされる。

図書館のCD・DVDの貸出について

西村 本市の図書館もDVD等の貸出しシステム整備をすべきではないか。

教育長 CD・DVDの貸出しシステム整備は検討

心配されているが嬉野市の対策は。

市長 環境庁の通達を受けてマスク着用や外出の自粛、また、洗濯物を外に干さないなどの対策をとる。

西村 嬉野市は平成23年5月の検診レポートでは心臓虚血性心疾患、脳血栓疾患の患者数は県下で1位・2位で、人工透析も2位である。この要因と対策は。

健康づくり課長 食生活や運動の生活習慣に関わるもので、高カロリーな食事やストレス、喫煙などにより形成され、発症に至つたと考えられる。今後は、高血圧の対策を進めなければならない。

ない。

誘客の施策について

辻 尖閣、竹島問題で宿泊客に影響はないか。

市長 韓国からの客は回復しているが、中国からの客は厳しい状況である。

辻 国内事情で一喜一憂する国がある。今後は東アジアの枠を広げ、東南

アジアの親日国に軸足を移してはどうか。

市長 今回訪問したシンガポールは世界中から交流人口がある。それを利用して、足場になればいいと思う。

辻 新しい体育施設がフル活用できるように、観光連携した部署が必要ではないか。

市長 全体的な体制整備は、発言の趣旨に沿って進めたいと思う。

辻 市内において喫緊の課題は。

市長 河川、道路の整備管理、また土砂崩れ等危険地域への対応が求められている。



轟小に設置された給茶機

伝 建地区の防火対策には万全を期せ

大島恒典 議員

答 重要施策として取り組む



大島 以前にも伝建地区の消火設備が脆弱であると指摘した。その後、有蓋の防火水槽2基が設置され安心したが、今後の整備についての考えはどうか。

市長 町分区については消火栓が設置されているが完全ではない。消火栓の増設は必要と考える。

大島 消火栓は初期消火に対しては有効であるが、大量の水量を必要とするときには有蓋の防火水槽の増設や、また、浦田川からの取水、更には、塩田工業高校プールの利用なども検討しておくべきと考えるが。

市長 浦田川からの取水については水量の問題もある。塩田工業高校プールの利用については了解をもらっている。

大島 塩田津の伝建地区はこれまでも大変な投資を行い整備され、また歴史的に重要な文化財もある。火災に対して幾重にも対策をとるべきであると思うが。

市長 今後も重要施策として取り組んでいく。

大島 新幹線周辺整備の状況は現在の進捗状況は、**市長** 農振除外については今年度いっぱいできめどがつく。医療センターとの協議も進んでいる。



公有水面にかかる橋

河 川占用の使用料は

答 25年より徴収する

織田菊男 議員



織田 河川占用の調査の状況は。
市長 現在の調査の段階で、使用料の発生件数が嬉野地区544件、塩田地区559件である。経費は3700万円である。

織田 文化財関係の橋があるが。

建設・新幹線課長 公的なものや国・県に関連するものは徴収しない。

織田 農業用については、**建設・新幹線課長** 農業用については徴収しない。

織田 老朽化した個人所有の橋は、**建設・新幹線課長** 危なかつたら市で指導する。

織田 河川占用に対しての市民の意識調査は行ったのか。
市長 この取り組みの趣旨については説明しているのですが、理解していただいていると思っています。

織田 徴収に対しての責任は徴収課か。
建設・新幹線課長 以前の建設課で対応していたので、今回からの徴収も建設・新幹線課の責任で行う。

谷所分校の状況は

織田 生徒の見通しは、**教育長** 24年7名、25年6名、26年7名で1学級27年9名、28年10名、29年10名、30年9名は2学級となる。

織田 谷所分校の改築は考えているのか。

教育長 市内全体の「嬉野の教育を考える会」の中で考える。意見を聞きながら検討する必要があると思う。

織田 生徒が時々本校に訪問しているが何のためか。また、どのような時か。

教育長 できるだけ本校の子供とコミュニケーションを図るためである。学校行事や学年行事、また、交流事業の時に訪問している。

織田 空き教室は、地域行事や社会教育などに使用できるのか。
教育長 2つの教室を合わせたような講堂がある。80名程度は十分入る場所になる。集会の拠点になると思う。

織田 谷所分校に対して地域の考えを調べてはどうか。
市長 合併協議会の協議を守る責任がある。今後の教育委員会の協議を聞かせていただきたい。



防火対策が必要な伝建地区

大島 医療センターの開業までは時間がない。工事を短期間で進めるには地元地権者の協力が必要である。今回の区画整理事業は今までの事業と内容が異なり不安がつておられる。もっと丁寧の説明をしていくべきだ。
建設・新幹線課長 農振

いて教職員の非正規化が進んでいると聞く。さまざまな問題が起きている教育現場では正規の職員を手当していくことが必要だと感じる。県に正規職員の増員をお願いしてはどうか。
市長 嬉野においては手厚くしてもらっている。県全体の財源の問題もあり厳しいのではないかとと思う。機会があれば発言してみたい。

大島 現在、ある県にお

学校週6日制の対応は

市 有施設で太陽光発電を

山口 要議員

答 対応について考える



山口 自然エネルギーを推進していくなかで、市有施設の屋根を企業などに貸し出す事業を進める考えはないか。
市長 学校の校舎とか、市役所の庁舎等において

リスクがなければ取り組める可能性はあると思うので、対応について考えてみたい。

「嬉野ファンクラブ」を募れ

山口 嬉野出身者のみならず、全国に会費制ファンクラブ会員を募って、物産品を贈りながら、観光発信や物産振興を図ってはどうか。
市長 そのような制度をつくれれば、将来的に可能性があると思うので、調査し前向きに検討をしていきたい。

創造都市としてのまちづくりを

山口 文化・芸術を生かした地域づくりを目指す「創造都市ネットワーク日本」が設立された。本市でも調査・研究をしてみてもどうか。
市長 今後の新しいまちづくりの指針の一つだと考えるので、その団体の活動を見ながら研究をしてみたい。



利用普及が進む太陽光発電

介護支援ボランティア制度の導入を

山口 高齢化社会へと突入していくなかで、先進地においては介護支援ボランティア制度が導入されている。この制度についての考え方はどうか。
健康福祉課長 詳細については解らないが、平成25年度から、杵藤広域介護保険事務所の圏域で事業として取り組むことになった。

「よさこいソーラン」の開催を

山口 やや下火になったとはいえ「よさこいソーラン」の人気は依然として根強い。本市開催に向けての考えはないか。
産業振興部長 昨年、佐世保の大会に行つて感動した。いきなり大会といつても負担が大きいので、「うれしカーニバル」に県内のチームだけでも呼んで、一つの機運の盛り上がりでも出来ればいいと感じている。

情報キャッチで施策提言

委員会レポート

長崎県自治体クラウドサービス運営状況について

総務企画
常任委員会

長崎県庁情報政策担当者、これまでの取り組み及び今後の展開について聞き取り調査を行った。

委員会の意見

嬉野市では、みゆきドームの完成や社会文化会館の建設など新しい施設

厚生
教育
文化
常任委員会

伝統的建造物群の
今後の保存のあり
方について

嬉野市では、平成17年より、塩田津伝統的建造物群保存地区の整備を進めてきたが、保存のあり方や活用方法等課題もある。そこで、他自治体にお



長崎県庁で研修を受ける総務企画委員

設の整備が進んでいる。施設予約や空き情報確認など、簡単に施設予約状況が閲覧でき、24時間365日簡単に予約できるシステムを構築してお

くべきと考える。長崎県の公共施設予約システムの特徴として、
①導入時期を自由に決定できる。
②一定期間を設けて通知

委員会の意見

神代小路地区は武家屋敷、塩田津地区は商家を中心とした保存地区である。

本市とは成り立ちがかなり違うが、事業を推進していく上では本市と同様の課題を抱えていた。本市では、保存物件75件に対し22件の保存・修理が終わっている状況で

まだ緒についたばかりの事業であり、これからも課題克服と活用については有効な対策を講じていく必要がある。いずれにしても塩田津伝建地区の事業目的は「保存と活用」であり、防災対策も含め、計画性のある保存整備に努めるべきである。一方、神代小路地区は鍋島邸を核に魅力ある地区となっており、花や

するだけで解約も容易である。
③安価（住民1人当たり年間10円）かつ短期間でシステムの導入及びサービスの開始が可能。
④利用自治体はシステム導入に当たり独自の機器整備が不要。
以上のメリットがあり今後の導入に向けて検討していくべきと考える。
施設の利用者には、高齢者やパソコン端末に不慣れの方もおられるので浸透には時間がかかると思われる。しかし非常に安価なサービスでもあり、公共施設の予約や使用料徴収の一元化を目指していくためにも試験的に導入していく価値があると思われる。



ボランティアガイドの説明を受ける産業建設委員

3つの

木々の植栽も人々を惹きつける一因となっていた。本市でも見所のある施設等はあるが、その活用については、まだまだ検討の余地があり、地元住民の理解のもと市全体の活性化のため、あらゆる関係団体と連携し活用策を見出していくべきだ。

長崎国際観光コンベンション協会の取り組みについて

産業建設常任委員会

観光都市長崎市において「長崎さるく」や「コンベンション誘致事業」などを展開し観光客誘致へ向けた取り組みをされている長崎コンベンション協会を視察し、今後の嬉野市が展開する観光戦略の手法を視察、検討した。

委員会の意見

平成18年に「さるく博覧会」が開催されたことを契機に、「長崎さるく」

街づくり人づくりの環境として「長崎さるく」をとらえており、「地元」のよさを発見し磨いていくのは地元の人である」との説明には感銘を受けた。行政は長崎観光戦略をベースに観光の基盤整備を行い、民間は基盤の上で経済効果を生むような戦略を考え、市民と共に行政と民間（コンベンション協会）、市民がそれぞれ役割と役目をとらえ官民一体となって長崎の観光事業発展に取り組んでおられた。

今後、嬉野市の観光事業の発展のためには、行政や観光協会、商工会、市民の観光事業の役割と分担をはっきりし、同じ価値観で取り組める方法と体制づくりが急務である。

街づくり人づくりの環境として「長崎さるく」をとらえており、「地元」のよさを発見し磨いていくのは地元の人である」との説明には感銘を受けた。行政は長崎観光戦略をベースに観光の基盤整備を行い、民間は基盤の上で経済効果を生むような戦略を考え、市民と共に行政と民間（コンベンション協会）、市民がそれぞれ役割と役目をとらえ官民一体となって長崎の観光事業発展に取り組んでおられた。

常任委員会の構成と主な担当

産業建設常任委員会	文教厚生常任委員会	総務企画常任委員会
委員長 副委員長	委員長 副委員長	委員長 副委員長
田中 政司 平野 昭義 大田 重喜 園田 浩之 小田 寛之 山口 忠孝	辻 浩一 田中 平一郎 西村 信夫 山口 要 梶原 睦也 山口 政人	大島 恒典 山下 芳郎 田口 好秋 神近 勝彦 織田 菊男 副島 孝裕
・ 商工観光 ・ 建設 ・ 農林 ・ 環境衛生 ・ 窯業	・ 健康福祉 ・ 学校教育 ・ 文化財 ・ 水道事業	・ 総務 ・ 財政 ・ 街づくり企画 ・ 消防 ・ 社会教育 ・ 選挙



神代小路地区を視察する文教厚生委員

うれしの市民の情報源

議会だよりと市報は

どこが違う？



辻田 和子

新年度に
向けて

女性の声

嬉野地区婦人会会長になって10年目を迎えます。

高度成長期に物の豊かさや心の豊かさは比例せず、自己中心的な考えの人が多くなり、会員の減少に悩みましたが、今は、人・嬉野を大切に思う会員さんに恵まれていることを嬉しく思います。

子ども達の交通安全指導と読み聞かせを中心としたお話応援、高齢者との「ふれあいサロン」、特養うれしのボランティア、児童養護施設へのプレゼント、そして、「あったか祭り」のぜんざいふるまい等、地域に根ざした活動をとおり、たくさんの人との出会いがありました。

私自身、出会いが人生を豊かにしてくれました。新年度も新たな出会いに心がはずんでいます。

24年度の高齢者「ふれあいサロン」は予算がなくてできませんでした。25年度は再びできるようになりました。

将来を担う子ども達や、今まで地域のためにご苦労していただいた高齢者の方々に寄り添って、お互い様の心でボランティアができることを幸せに思います。

笑顔あふれ、活気あふれる嬉野のまちづくりに「できる人が、できることを、できる時」をモットーに楽しく和気あいあいと活動していきたいと思えます。

嬉野には市の話題をお伝えする色々な情報誌があります。情報量の豊富さでは、なんと「市報・うれしの」と「議会だより・うれしの」と「議会だより・うれしの」ではないでしょうか。似ているようで全く性質が異なります。「市報」は行政のPR誌、「議会だより」はその行政をチエックする議会の情報公開誌であるからです。議会の日程上、「議会

だより」は「市報」より1カ月ほど遅れて発行されますが、同じ当初予算を取り上げて、市報は予算額とその内訳の説明だけですが、議会だよりは、交付金、借金など予算の性格と将来への影響などにも突っ込んで説明をしています。アプローチや切り口が違うことがわかりますね。比べて見るのも面白いかもしれません。

	市報・うれしの	議会だより・うれしの
発行回数	年12回（毎月末）	年4回（定例議会後）
総ページ数	324ページ（平均27ページ）	82ページ（平均21ページ）
年間経費	決算額 671万3千円	決算額 88万5千円
発行部数	9,500部	1万部
主な内容	・予算	・当初予算および質疑応答
	・行政から案内	・条例改正
	・地域コミュニティについて	・補正予算および質疑応答
	・イベント案内	・陳情や請願など市民の意見
	・時間外交付サービス	・討論採決と賛否表
	・健康増進について	・「議員とかたろう会」の報告
	・地域コミュニティについて	・政策討論会の提言
	・文化やスポーツ	・一般質問
	・人口の動き	・委員会レポート
	・入札結果のお知らせ	・議会用語の説明
・まちづくり通信	・女性の声	
・くらしのお知らせ など	・コラム など	

議会広報編集特別委員会

委員長	小田寛之
副委員長	山下芳郎
委員	山口要
委員	平野昭義
委員	織田菊男
委員	副島孝裕
委員	梶原睦也
委員	山口忠孝

あらゆる報道で教育現場やスポーツの体罰が取り沙汰されている。体罰の解釈は各人で異なる。時代背景・置かれた環境によっても違う。私は学生時代に、体罰を受けたが指導者を恨むどころか反省することが多かった。体罰よりも言葉を伴った心のこもった指導が伝わったからだ。目上の者との理由だけで体罰を与えられるのは子どもも納得できない。体罰そのものよりも「伝える」ことの指導不足が原因で心に傷を負うことも多いのではないかと、体罰がない世の中が理想だ。今、指導方法そのものを考える時が来たのではないかと（寛之）

コラム